

MagHoldIRを利用した硬化性接着剤の測定

MagHoldIRは粘度の高い液体試料を測定することも可能です。窓板はマグネットで固定している為、ワンタッチで組み立て可能です。また、ディスプレイ可能な5 mm角のKBr窓板(KBrプレート)を使用することで測定後の試料の硬化や除去を考慮する必要はありません。



①KBrプレートを1枚置き、その上にサンプルを少量載せる



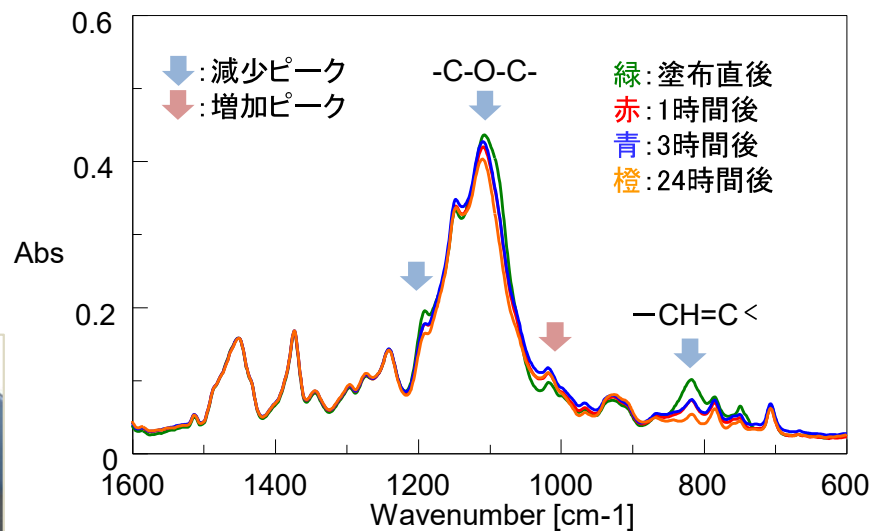
接着剤



②サンプルを薄く延ばして薄膜化



塗布直後から24時間後までの
透過スペクトル重ね書き



③MagHoldIRにセットし、測定



透過法(窓板: KBr, BKG: KBr), 日本分光製FTIR使用
 ※BKGはKBrプレート1枚で測定

Master's Memo

- ・より効率的に測定できる方法として薄膜法を選択しました。
- ・粘度が高いサンプルは液だれの心配が少ないため、窓板 (KBrプレート)1枚のみでも測定可能です。
- ・KBrプレートに載せた液量が多く、吸収が飽和した場合は、一度プレートを外しサンプルを拭い、量を減らします。